

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

苦悩を乗り越えて歓喜へ。
渾身のタクトが深い感動を呼ぶ！

円熟味を増す“炎のマエストロ”
一音一音に熱い魂を込める！

小林研一郎
(読響特別客演指揮者)

Conductor = Ken-ichiro Kobayashi



欧州で注目を浴びる“ライジング・スター”
豊かな音楽性とキュートな笑顔で聴衆を魅了

タムシン・ワリー＝コーエン
(ヴァイオリン)

Violin = Tamsin Waley-Cohen

©PatrickAllen, operaomnia.co.uk

読売日本交響楽団 第214回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 214

2019年 2月 9日 (土) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Saturday, 9th February, 2019 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 **SOLD OUT**

読売日本交響楽団 第214回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 214

2019年 2月 10日 (日) 14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Sunday, 10th February, 2019 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥4,000

土日の午後に楽しむ二大名曲 《チャイコフスキー&ベートーヴェン》

ウェーバー: 歌劇「オベロン」序曲

WEBER: "Oberon" Overture

チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

TCHAIKOVSKY: Violin Concerto in D major, op.35

ベートーヴェン: 交響曲第5番 ハ短調 作品67 「運命」

Beethoven: Symphony No.5 in C minor, op.67

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年末年始を除く) <https://yomikyo.or.jp/>

名匠・小林研一郎、入魂の《運命》

いつまでも色あせない魅力を持ち、何度でも聴きたくなる名曲がある。「運命」はその代表だ。苦悩を乗り越えて歓喜へ。このテーマは、人々が裡に秘めた“困難に立ち向かう強い意志”に共鳴し、苦しみながらも前に進む者に勇気と希望を与えてきた。だからこそ、「運命」は世界中の聴衆に愛され、繰り返し演奏されてきたのかもしれない。有名な冒頭の動機が繰り返された後の、輝かしい勝利のフィナーレ。ベートーヴェンの託した想いが、時代を超えて響きわたる。

指揮台に上がるのは、読響特別客演指揮者の小林研一郎。今年78歳、熱いパッションを持ちつづけている名匠だ。“炎の Maestro”の愛称の通り、エネルギーほとばしる情熱的な音楽作りで絶大な人気を誇っている。作品に真摯に向き合い、理想の姿を求めて妥協を許さない。その渾身のタクトが鮮烈なリズムを鋭く描き、重厚なサウンドを生み出すはずだ。最後には喜びがあふれ出し、圧倒的な興奮のクライマックスを築き上げる。熱狂の渦に身を委ねれば、明日への活力が湧き上がってくるだろう。

前半は、イギリスの名花ワリー＝コーエンが登場。2015年に権威ある新人賞“エコー・ライジング・スター賞”を受賞して脚光を浴びている、美貌と才能を兼ね備えた新星ヴァイオリニストだ。ロンドン・フィル、チェコ・フィルなど一流の楽団に招かれる確かな実力に加えて、客席に向けられる愛らしい笑顔で人気も急上昇。今回披露するのは、名旋律と超絶技巧が同居したチャイコフスキーの傑作協奏曲。持ち前の艶やかな音色でチャイコフスキー特有の叙情的なメロディを伸びやかに歌い、鋭い洞察力で曲の内面にまで気を配る。

演奏会はウェーバーの歌劇「オベロン」序曲で華々しく開幕。妖精が舞い踊るような、華麗で生き生きとしたサウンドをお楽しみいただきたい。

タムシン・ワリー＝コーエン

Violin = Tamsin Waley-Cohen (ヴァイオリン)

2015年に権威ある新人賞“エコー・ライジング・スター賞”を受賞した新星。イギリスで最も聡明かつ多才な若手ヴァイオリニストの一人として注目を浴びている。これまでにリットン、V.ペトレンコらの指揮で、チェコ・フィル、ロンドン・フィル、ハレ管、ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルなどと共演を果たしたほか、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ロンドン・ウィグモアホール、オールドパラ音楽祭などに出演。16年にはアルピオン・カルテットを創設するなど、室内楽活動も活発に行っている。数々の録音をリリースしており「ハリス／アダムズ：ヴァイオリン協奏曲」は「グラモフォン」誌において「ここ数年で最も魅力的な協奏曲録音の一つ」と絶賛された。



小林研一郎 (指揮)

Conductor = Ken-ichiro Kobayashi

“コバケン”の愛称で親しまれている世界的指揮者。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第1位。欧州の一流楽団を多数指揮しており02年の「プラハの春」音楽祭では、東洋人として初めて開幕コンサートに招かれ「わが祖国」をチェコ・フィルと演奏。ハンガリー国立響の音楽総監督、チェコ・フィル常任客演指揮者などを経て、日本フィル桂冠名誉指揮者、九響名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、東京芸術大学、東京音楽大学、リスト音楽院の名誉教授などを務める。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。オクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリース。読響とはブラームスの交響曲を全曲録音し、高い評価を得た。



©PatrickAllen, operaomnia.co.uk

読売日本交響楽団 第214回土曜マチネシリーズ

2019年 **2月9日** (土) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥3,000

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観覧料】東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306(予約受付:平日9時-17時)

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年末年始を除く

読売日本交響楽団 第214回日曜マチネシリーズ

2019年 **2月10日** (日) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296